令和８年度 東部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位：μ（マイクロシーベルト）Ｓｖ／時）

Ｓｖ（シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

μ（マイクロ）　　：10^{-6}（100 万分の 1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
第１回目	令和８年４月 15 日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05
第２回目	令和８年５月 20 日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05
第３回目	令和８年６月 17 日	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05
第４回目	令和８年７月 15 日	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05
第５回目	令和８年８月 19 日	0.05	0.04	0.05	0.04	0.04
第６回目	令和８年９月 16 日	0.05	0.05	0.06	0.04	0.06
第７回目	令和８年 10 月 21 日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05
第８回目						
第９回目						
第 10 回目						
第 11 回目						
第 12 回目						

※ １か月に１回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約 1ｍの高さで測定を実施。

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位：Ｂｑ（ベクレル）／ｋｇ）

Ｂｑ（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

実施回※1	採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウムの合計
第１回目	令和８年６月 11 日	焼却残渣　焼却灰※2	不検出	１３	１３
		焼却残渣　飛灰※3	不検出	６２	６２
第２回目	令和８年 11 月予定	焼却残渣　焼却灰※2			
		焼却残渣　飛灰※3			

※1 資源化先である地元の自治体等の要請に応じた頻度で測定を実施。
※2 焼却残渣 焼却灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。
※3 焼却残渣 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。